

【自治体職員支援】 橋梁の点検支援技術活用講習会の開催について

熊本県道路メンテナンス会議主催による、地方自治体支援の一環として県内の地方公共団体職員等を対象に橋梁の点検支援技術活用講習会を開催しますのでお知らせします。

この講習会は、橋梁の点検支援技術の活用により、点検方法の効率化が図られることから地方公共団体の点検支援技術に対する理解を深め、定期点検を行う上での技術の活用方法や留意点等に関する知見を習得し、自らの定期点検に反映してもらうことを目的として開催するものです。

なお、「熊本県道路メンテナンス会議」とは、道路施設の維持管理・補修を効率的・効果的に行うため、各道路管理者が相互に連絡・調整を行い、道路施設の点検計画等を共有することにより、道路施設の予防保全・老朽化対策を円滑に行うことを目的とした会議です。

記

◇ 講習会の概要

- <日 時> 令和6年7月31日(水) 13時30分～(2時間程度)
- <場 所> 国道3号 ^{ゆうばし}夕葉橋 (別紙地図参照)
- <参加者> 地方公共団体職員(保全業務担当者) 40名程度
- <内 容> 橋梁定期点検を行う上で点検支援技術を円滑に活用できるよう、「点検支援技術性能カタログ」に掲載されている技術等について紹介します。

◇ 報道関係者の皆様へ

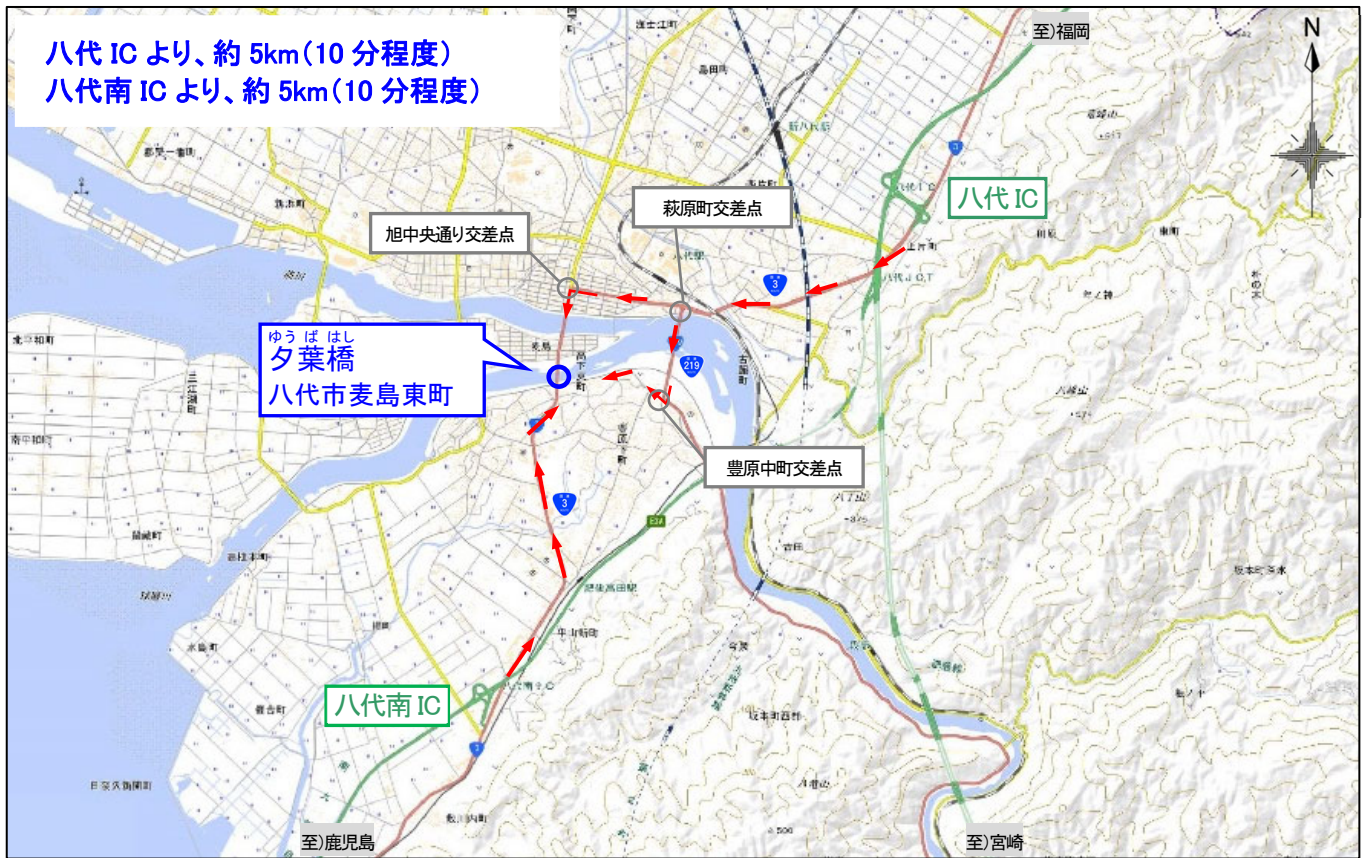
- ・取材される場合は、ヘルメットを貸与しますので前日の15時までに以下の問い合わせ先へご連絡ください。
- ・悪天候の場合は延期または中止する場合があります。その際は事前にご連絡します。

《問い合わせ先》

■ 国土交通省 熊本河川国道事務所	TEL096-382-1111 (代表)
総括保全対策官	^{こが たかのり} 古賀 尚永 (内線: 308) 【総括】
道路管理第二課長	^{ひらの さとし} 平野 智志 (内線: 441) 【内容等】
■ 熊本県 土木部 道路都市局	TEL096-333-2496 (直通)
道路保全課長	^{たかはし よしひこ} 高橋 慶彦 (内線: 53440)
道路保全課主幹	^{ほんま かずひろ} 本間 和広 (内線: 53448)

(別紙地図)

橋梁の点検支援技術活用講習会会場 位置図



位置図 (詳細)



橋梁概要

橋梁概要

橋名	ゆうばはし 夕葉橋
橋長	252.53m
幅員	12.40m
架設年度	1964年
上部工形式	PC5 径間連続有ヒンジラーメン箱桁橋
下部工形式	P1~P4: 柱橋脚1柱小判(RC)
基礎形式	P1~P4: ニューマチックケーソン
交差物件	球磨川

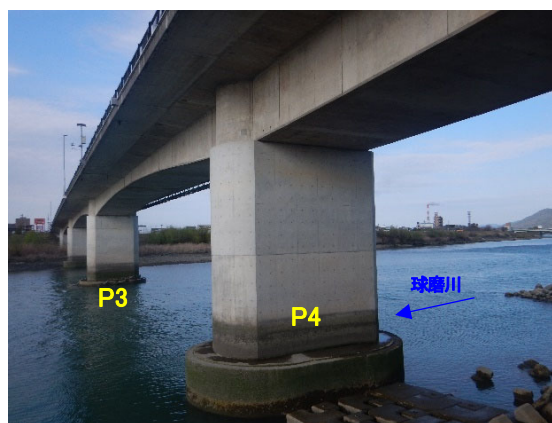
ゆうばはし 夕葉橋状況写真



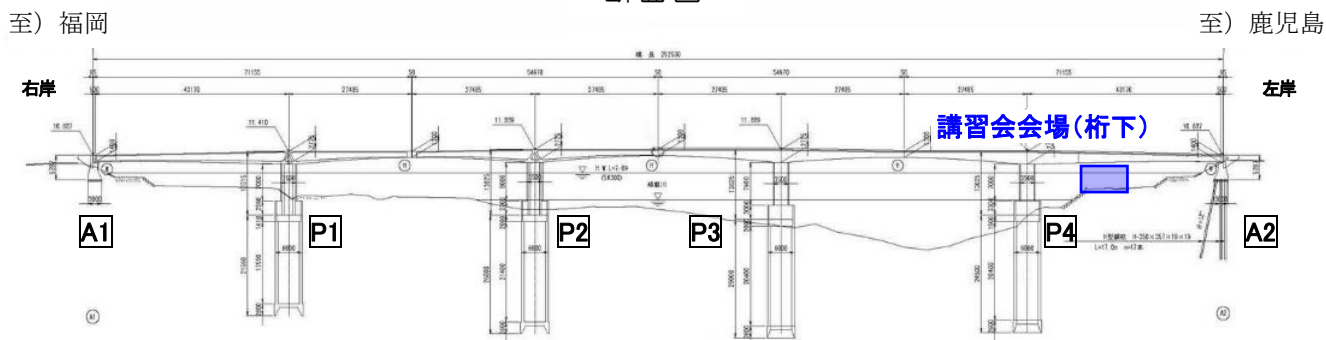
集合場所 (左岸 A2 橋台前の高水敷)



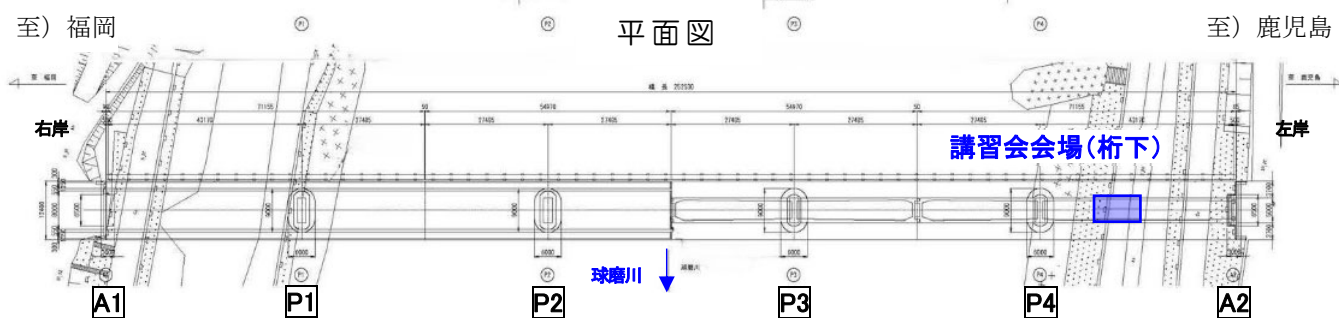
対象橋脚 (P3・P4 橋脚)



断面図



平面図



点検支援技術のご紹介

■点検支援技術性能カタログ掲載技術

近接目視を補完・代替充足する技術の紹介

変状の把握・記録：作業の効率化・精度向上

紹介技術①：全方向水面移動式ボート型ドローンを用いた橋梁点検支援技術 [TypeS]
[技術番号：BR010041-VO224]

【技術概要】

本技術は、水面上を全方向へ移動できる、ボート上面に 4 つのプロペラを有したボート型のドローン。機体中央部にソナーを搭載しており、橋脚の周りを計測することで、河床状況の確認が可能な技術である。



写真撮影・画像解析：作業の効率化・精度向上

紹介技術②：全方向水面移動式ボート型ドローンを用いた橋梁点検支援技術 [TypeP]
[技術番号：BR010041-VO224]

【技術概要】

本技術は、桁下空間が狭い橋梁（溝橋）に対して、最小桁下空間横幅 1.5m、桁下高 50cm であれば進入可能で、水面上を全方向に移動できる、ボート上面に4つのプロペラを有したボート型ドローンにより撮影された画像から損傷を把握する技術である。



写真撮影・画像解析：作業の効率化

紹介技術③：全方向衝突回避センサーを有する小型ドローン技術
[技術番号：BR010009-VO424]

【技術概要】

本技術は、狭小部(直径 1.2m 空間)に進入可能で、飛行中、画像処理によって構造物をリアルタイムで 3 次元空間として把握し、画像処理の機能によって一定の離隔を確保しながら障害物との衝突を自動的に回避するドローン。ドローンで撮影した画像をオルソモザイク作成及びひびわれ図、3D データ作成等を可能とする技術である。

